

【町長】

通告順	1	質問 議員	伊藤議員
質問 項目	「ふるさとづくり基金」の有効的な活用について		
質問 内容	<p>令和 6 年度では、18 億 8,000 万円のふるさと寄付を受領し、10 億 9,000 万円の積み立てと 2 億 8,000 万円の繰入を行い、令和 6 年度末残高では、13 億 2,500 万円でありました。</p> <p>令和 7 年度は、11 月末現在において 12 億 4,405 万円の受納状況であり、約 5 億円から 6 億円がすでに基金へと積みあがっていると考えます。</p> <p>ふるさとづくり基金は、全国から沼田町を応援していただいた貴重な財源であります。</p> <p>現在、令和 8 年度に向けての予算編成が行われていると承知していますが、令和 2 年度に町が示した今後 10 年間を見据えた「沼田町公共施設のあり方」にあるように「町民体育館」の建設や「ほたる館」の改修のほか、本年の予算では「農産物処理加工施設」の基本設計を行い、「沼田町駅未来協議会」からは、まちづくりの提言書が提出されています。</p> <p>沼田町の長年の課題を解決できる財源として基金は重要な財源であると考えますが、一方で、財源があるから際限なく使ってしまうということもあり得ないことだと考えます。</p> <p>令和 8 年度及び今後の将来に向けて「ふるさとづくり基金」を有効的かつ計画的な活用を進めるための考え方を質問致します。</p>		

優先度	施設No.	施 設 名	建築年度	経過年数	耐用年数	今後の方針(案)	内 容 (コメント)	スケジュール									
								R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
1	①	中学校・校舎	S59	36	50	計画的補修により継続管理	経年劣化により、外壁及び屋上防水の改修が早急に必要である。		実施設計	外壁改修	屋上防水						
								7,000	100,000	50,000							
		中学校・体育館	S48	47	38	計画的補修により継続管理	町民体育館と一体的な検討が必要である。		送風機購入 (寒さ対策)			建築後50年が経過することから、新体育館建築と併せた整備が必要。 ※解体費 64,000千円(体育館・柔剣道場) ★追跡ソフト基準 70,000千円					
		中学校・格技場	H8	24	38	計画的補修により継続管理	比較的経年の浅い施設であり計画的補修により存続すべき										
2	②	化石レプリカ工房	S41	54	24	移転解体	老朽化が進んでおり他の遺体施設を活用し移転する。		基本計画	移転改修	解体						
								交渉中	試算中	15,000							
	③	ふるさと資料館	S58	37	50	廃止解体	施設全体(内外部)に老朽化が進んでおり、多用途での活用・解体のいずれにしても多額の経費を要する。				解体						
											84,000						
3	④	町営スキー場:ロッジ	S51	44	24	新設	老朽化が著しく、リフトにおいては故障や事故も多発している。一方で各市町村に隣接するスキー場が閉鎖されていることや高度な指導体制を誇る本町スキー学校の併設など、ロコミにより雪外からの利用者が増加し、リフト改修とロッジ建て替えが急務である。財源確保、関係機関との協議・連携を図ったうえで早期に事業着手したい。		基本計画	実施設計	建設・解体費						
										10,000	72,000	(うち、解体費5,000)					
		町営スキー場:リフト	S54	41	45	新設			基本計画	実施設計	建設・解体費						
										19,000	270,000	(うち、解体費50,000)					
4	⑤	町民体育館	S46	49	38	当面継続管理	施設の老朽化は進んでいるが継続管理する。但し、新町民体育館建設に向け財源確保の目途と併せ、中学校体育館との併設整備を含め慎重な検討が必要。新体育館完成後、旧施設は解体する事とし、跡地利用を模索する。					建築後50年が経過することから、中学校体育館と併せた整備を含め検討。 ※建設費 2,500,000千円(アリーナ2室で試算) ※解体費 123,000千円(3施設)					
		生活改善センター	S47	48	38	廃止解体											
	⑥	柔剣道場	S56	39	38	廃止解体											
5	⑦	ほろしん温泉(平家)	S56	39	47	計画的補修により継続管理	H19・20に館内大規模改修を実施済みであり、計画的修繕を行い存続していく。										
		ほろしん温泉(源氏)	H5	27	47	継続管理	建築後26年が経過し修繕を行いながら運営しているが、館内外各所に改修が必要な状況となっており、財源確保を図った上で大規模改修を行う。					建築後30年が経過することから大規模な改修を行う。 ※ 改修費 1,100,000千円					
6	⑧	藤沢火葬場	S29	66	22	廃止解体	財政状況を考慮し解体										
		藤沢墓園休憩室	H21	11	24	継続管理	他の用途に転用することは考えにくいので、当面継続管理していく。										
7	⑨	町民会館	S49	46	50	継続管理	講堂については本町において代替施設を有していないことから計画的補修により存続する。										

[illegible]

【町長】

通告順	2	質問 議員	長野議員
質問 項目	留萌本線廃線後にどのような未来図を描くのか		
質問 内容	<p>10月16日、沼田町駅未来協議会は、JR留萌線石狩沼田駅の「来春の廃止後の活用策」をまとめた提言書を町長に手渡した。提言書には、駅が地域交通の拠点の機能を果たしてきたとして、「石狩沼田駅を中心とした周辺の土地、鉄路、駅舎を町が取得し、にぎわいの拠点として活用すべき」と以下の4点が示された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 駅舎を町発展の歴史や鉄道史を伝える記念施設として再整備する。</li> <li>2 廃線レールを譲り受け、列車展示やトロッコの体験に活用。</li> <li>3 観光案内所の駅舎内への移設。</li> <li>4 駅裏の鉄道用地跡を活用し道の駅を整備する。</li> </ol> <p>これらの提言を踏まえ、いつまでにどのような未来図を描くのか。 駅舎・鉄路の活用を選択する未来、別な道を選択する未来、町長がその 目途や方向性を示すことこそが、沼田町200年を方向付けるターニングポイントとなるのではないか。町長の考えを聴きたい。</p>		

【町長】

通告順	5	質問 議員	上野議員
質問 項目	ＪＲ石狩沼田駅鉄道跡地を活用したまちづくりに関する提言書に関する今後の事業展開について		
質問 内容	<p>令和７年１０月１６日に沼田町駅未来協議会より沼田町に提出された「ＪＲ石狩沼田駅鉄道跡地を活用したまちづくりに関する提言書」について、横山町長の今後の取組への見解を質問させていただきます。</p> <p>令和８年３月末をもって留萌本線は全線が廃止されるという残念な時期まで４カ月を切りました。</p> <p>そこで出された提言書ではありますが、内容的に素晴らしく私としても大いに賛同する所も多く、この提言書の内容が今後どの様に実現されていくのか楽しみでもあり不安な事もあります。</p> <p>そこで、以下について質問させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>この提言書が出された経緯と横山町長のこの提言書を受けての見解</li> <li>現時点でのこの提言通りに実施した場合の予想される総事業費・財源と経済効果・波及効果をどの様に算出しているか。 より実現性を担保するために、専門機関へのより詳細な調査検討依頼をする事が必要と思われます。</li> <li>来年３月迄には沼田町としての構想を出されることがアピール効果が大きいと思いますので、実施に向けての今後、議会並びに町民説明等のスケジュール等現時点での考えをお聞かせください。</li> </ol> <p>以上、町長に質問致します。</p>		